

NPO 法人空港に於ける RFID 技術普及促進連絡会
NPO Airport RFID Technology Alliance (ARTA)

2020 年度 通期事業報告
(概要版)

2021 年 6 月

ARTA 事務局

目 次

1. 一般報告
 - (1) 会員の状況
 - (2) 役員等
 - (3) 会の運営

 2. 活動報告
 - (1) IATA 関連
 - (2) ICAO 27May2020 CART_Report_Take-Off_Document 和訳
 - (3) 空港に於ける UVC 除菌実用化検討・先導実証試験
 - (4) 関西国際空港カート UVC 除菌装置運用 2 次試験
 - (5) 中部国際空港到着手荷物 UVC 除菌及び 3 密対策システム 2 次試験
 - (6) その他

 3. 2020 年度収支報告(2020.4.1－2021.3.31)
- 添付資料（詳細版参照）
- (1) 会員リスト(2020.3.31 版)
 - (2) 第 10 回通常総会議事録・状況報告会資料
 - (3) IATA BWG45 資料
 - (4) 購入図書 IATA PSCM40th
 - (5) IATA BWG46 資料
 - (6) ICAO 27May2020 CART_Report_Take-Off_Document 和訳
 - (7) 空港に於ける UVC 除菌実用化検討・先導実証試験報告書
 - (8) 関西国際空港カート UVC 除菌装置運用 2 次試験報告書
 - (9) 中部国際空港到着手荷物 UVC 除菌及び 3 密対策システム 2 次試験計画概要書
 - (10) 2020 年度収支報告書(2020.4.1－2021.3.31)

1. 一般報告

(1) 会員の状況

会員数 2021年3月31日現在
団体会員 18社
個人会員 2名
特別会員 1社

団体会員 (会員リスト記載順)
(株)エージーピー
(株)デンソーウェーブ
トーヨーカネツソリューションズ(株)
日本信号(株)
川崎重工業(株)
三機工業(株)
凸版印刷(株)
ジック(株)
佐川印刷(株)
OKOBAN S.A.
ナクシス(株)
日本電気(株)
(株)三景
エイブリー・デニソン・ジャパン(株)
トッパン・フォームズ(株)
ビジョン ボックス ジャパン
アライゾンジャパン(株)
(株)セイコードー

個人会員
井上 麻衣
石島 幸子

特別会員
埼玉大学 長谷川研究室・間邊研究室

(2) 役員等

会長	水野 一男	東京大学大学院 客員教授
理事	小澤 昭夫	トーヨーカネツソリューションズ(株)
	波多野 啓介	OKOBAN S.A.
	門谷 良己	(株)エージーピー

監事	北村 剛一	三機工業(株)
----	-------	---------

顧問	長谷川 孝明	埼玉大学教授
	荒尾 和史	前 中部国際空港(株)顧問
	小林 勝春	(株)エージーピー 担当部長
	福田 朗	前 ARTA 会長

(3)会の運営

以下の通常総会及び状況報告会を開催し、会の運営について協議を行った。

- ・2020年6月30日 第10回通常総会・状況報告会
定款変更を決議した。

2. 活動報告

(1)IATA 関連

①第45回 Baggage Working Group 会議

2020年6月10日 web で開催された。

波多野理事が参加。

【波多野理事所感】

初の Web 会議であったが、内容的には成功であったと思われる。ただ、顔が見えないので、どこの誰が発言しているのかも判断しづらく、通常は1日ないし、1日半の会議を2時間半という限定された時間に押し込めたので、議論の時間なども少なく、かなり事務的に進んだものと感じた。(削減されたのは、自己紹介の時間、根回しや協議などをするコーヒープレイク、昼食、ベンダーのプレゼンテーション、ネットワーキングの懇親会など)。後日、初の Web 会議は100名を超える参加があり、成功裏に終わったと IATA が SNS 上に発信していた。

②IATA 図書購入

・Passenger Standards Conference Manual 40 版 (PSCM)

Effective 1 June 2020 – 31 May 2021

データ版購入(3user)

以下の規定をハードコピーし内部資料として ARTA 内共有した。

- IATA PSCRM40th_Resolution740 Form of interline baggage tag
- IATA PSCRM40th_Resolution753 Baggage tracking
- IATA PSCRM40th_RP1740a Baggage tag media quality guidelines & Addendum
- IATA PSCRM40th_RP1740c RFID Specifications for Interline Baggage
- IATA PSCRM40th_RP1754 Form and function of the EBT

③第46回 Baggage Working Group 会議

2020年10月14日 web で開催された。

波多野理事が参加。

【波多野理事所感】

二度目の Web 会議であり、前回よりも活発に議論がなされた点では成功であったと思われる。また、議論すべき議案が多かったのも時間がかかった要因の一つであったが、前回顔が見えないので、どこの誰が発言しているのかも判断しづかった点については、発言者が誰かを司会が紹介するなど、改善は見られた。半面、議論が多かった分、時間内に収まらず、後日残りを開催する方向で調整となった。Web 会議となったことで従来参加できなかった航空会社の参加も見られ、その点ではよかったのではないかと思われた。

(2)ICAO 27May2020 CART_Report_Take-Off_Document 和訳

ICAO より発行された、27May2020 CART_Report_Take-Off_Document の和訳を行い ARTA 内情報共有した。

(3)空港に於ける UVC 除菌実用化検討・先導実証試験

国際線再開による海外からのコロナウィルス貿易措置の一例として、RFID 利用による手荷物・カート等の紫外線除菌に関するトレーサビリティ管理の先導的試験研究・検討を図り、国際線旅客・空港従業員および地域住民に対する安全・安心を担保するこ

とを実証し、各空港に於ける早期のシステム導入を促すことにより国際線路線の早期需要回復を目指すことを目的とし、ARTA が主催し、中部国際空港にて実施した。

【実証試験実施期間】

2020.10.14～2020.11.6

期間中、実運用便におけるシステム評価の他、模擬実験によるデータ収集を実施。

【試験場所】

中部国際空港第1ターミナル国際線エリア*制限エリアを含む。

【プロジェクトメンバー】

プロジェクト参画各社負担にて実施

主催 NPO 法人空港に於ける RFID 技術普及促進連絡会

- ・RFID 機器メーカー ジック、デンソーウェーブ
- ・RFID メーカー トッパン・フォームズ、三景、ナクシス、
エブリィ・デニソン・ジャパン(UVC 照射試験対応のみ)
- ・情報提供アプリ 埼玉大学、OKOBAN.S.A
- ・システム保守メンテ エージーピー
- ・UVC 機器メーカー 岩崎電気 (カート、手荷物搬送ライン)
- ・試験協力 中部国際空港(試験フィールド提供、UVC 照射試験対応)
成田国際空港(UVC 照射試験対応)
中部国際空港施設サービス
トヨーカネツ(UVC 照射試験対応)

【システム評価】

東京大学

【特別参加】

プロジェクトメンバー外

SANYCAR (セキュリティトレイ UVC 除菌装置)

(4) 関西国際空港カート UVC 除菌装置運用 2 次試験

世界的なコロナ禍における新型コロナウイルスの感染拡大防止措置の一つとして、不特定多数の方が使用する空港の手荷物カートの紫外線除菌及び電子タグを用いたスマートフォンへの除菌情報送信を行い、その効果と安全・安心情報の見える化(情報トレーサビリティ)について基礎検証を行う。2020年10月14日から11月6日に中部国際空港にて実施した「空港に於ける UVC 除菌実用化検討・先導実証試験プロジェクト」で得られた課題を可能な範囲改善し 2 次試験を行い完成度をさらに高め、各空港に於ける早期のシステム導入を促すことにより国際線路線の早期需要回復に貢献することを目的とし、関西エアポート主催のもと ARTA にて実施した。

【実証試験実施期間】

2020.12.11～2021.3.31

検討対象: 手荷物カートの UVC 殺菌およびトレイサビリティ。

JAL、ANA 現場スタッフの要望により、車いす及びベビーカーについても対象とした。

【試験場所】

関西国際空港第1ターミナル2F 国内線チェックインロビー

【プロジェクトメンバー】

プロジェクト参画各社負担にて実施

- ・主催 関西エアポート
- ・試験実施、統括 NPO 法人空港に於ける RFID 技術普及促進連絡会
- ・RFID 機器メーカー デンソーウェーブ
- ・RFID メーカー トッパン・フォームズ、三景、ナクシス、
- ・情報提供アプリ 埼玉大学
- ・システム保守メンテ エージーピー
- ・UVC 機器メーカー 岩崎電気
- ・試験協力 関西エアポートオペレーションサービス(カート除菌運用)

K スカイ(JAL)(車いす、ベビーカー除菌運用)
ANA 関西空港(車いす、ベビーカー除菌運用)

(5) 中部国際空港到着手荷物 UVC 除菌及び 3 密対策システム 2 次試験

到着手荷物返却エリアでの 3 密回避を可能とする手荷物返却情報提供システムに関し、2020 年 10 月 14 日から 11 月 6 日に実施した「空港に於ける UVC 除菌実用化検討・先導実証試験プロジェクト」で得られた課題を改善し 2 次試験を行い完成度をさらに高め、各空港に於ける早期のシステム導入を促すことにより国際線路線の早期の需要回復に貢献することを目的とし、ARTA が主催し、中部国際空港にて現在実施中である。

【実証試験実施期間】

2021.3.15～2021.8.末(予定)

検討対象：国際線到着預託手荷物。

【試験場所】

中部国際空港第 1 ターミナル国際線エリア * 制限エリアを含む。

【プロジェクトメンバー】

プロジェクト参画各社負担にて実施

- | | |
|--------------|---|
| ・主催 | NPO 法人空港に於ける RFID 技術普及促進連絡会 |
| ・RFID 機器メーカー | ジック |
| ・RFID メーカー | デルタ航空手荷物タグ RFID を対象とする |
| ・情報提供アプリ | 埼玉大学 |
| ・システム保守メンテ | エージーピー |
| ・UVC 機器メーカー | 岩崎電気 |
| ・試験協力 | 中部国際空港(試験フィールド提供、UVC 照射試験対応)
中部国際空港施設サービス
トーヨーカネツ(コンベア改修部品納入) |

(6) その他 (事務局対応)

- ・ 千葉県 NPO 法人室、県税事務所及び成田市役所へ、2020 年度事業報告書、定款変更届等を提出し受理された。
- ・ 千葉地方法務局本局へ、理事の変更(重任)の登記届けを提出し受理された。
- ・ 千葉地方法務局本局へ、定款変更の登記届けを提出し受理された。
- ・ 成田市役所へ、2020 年度法人税減免申請を行い受理された(県税事務所は法人税減免申請免除となった)。
- ・ 手荷物 ONE ID による手ぶら旅行(空港 MaaS)意見交換会について
2019 年 12 月 4 日に ARTA 主催にて第 1 回意見交換会を実施した。2020 年 2 月に第 2 回意見交換会を実施し、とりまとめを行う予定であったが、コロナ禍により第 2 回意見交換会は中止し 2020 年内を目途とし関係者へのヒアリングによるとりまとめ作業を行ってきた。しかし、コロナ禍収束が遅れていることから、とりまとめが難しい状況に至っており、一旦作業を中止している。コロナ収束後経済回復段階にて新たな視点で対応を図りたいと捉えている。

3. 2020 年度 (2020.4.1－2021.3.31) 収支報告

(2021.3.31 時点)

	合計金額	内 訳		備 考
収 入	8,371,115 円	会費	1,715,000 円	1 社未納(来期まとめて納入)
		銀行利息	43 円	
		2019 年度繰越金	4,862,412 円	
		その他収入	1,793,660 円	「その他収入内訳」参照
支 出	7,327,415 円	支払手数料	34,870 円	
		通信費	369,029 円	電話、インターネット、郵送等
		保守・修繕費	0 円	
		事務用品費	2,346 円	
		備品購入費	0 円	
		消耗品費	0 円	
		交通費	0 円	
		雑費	106,458 円	登記証明書発行費、名刺
		その他支払	6,814,712 円	「その他支払内訳」参照
		残 額	1,043,700 円	-

■「その他収入」内訳

	合計金額	その他収入内訳		備 考
その他収入 内訳	1,793,660 円	NPO 事業収入	1,793,660 円	NAA RFID 導入による到着手荷物追跡システム要件整理作業

■「その他支出」内訳

	合計金額	その他支払内訳		備 考
その他支払 内訳	6,814,712 円	NAA RFID 導入による到着手荷物追跡システム要件整理作業	37,224 円	2019 年度実施 成果品製本代
		2019 年度分 ARTA 出納帳作成業務	275,000 円	
		COVID-19 Public Health 英文和訳作成費	80,000 円	
		空港 MaaS プロジェクト関連	439,597 円	現地打合せ及び上申書(案)とりまとめ
		2020 年度分 ARTA 出納帳作成業務	440,000 円	PSCRM40th ハートコピー作業含む
		IATA 関連図書購入	134,053 円	PSCRM40th (3 ユーザ版)
		空港に於ける UVC 除菌実用化検討・先導実証試験	2,548,332 円	ARTA 主体プロジェクト 中部空港にて実施
		関西国際空港 カート UVC 除菌装置運用 2 次試験	463,270 円	ARTA 主体プロジェクト 2020.12-2021.3
		中部国際空港 到着手荷物 UVC 除菌及び 3 密対策システム 2 次試験	1,182,830 円	ARTA 主体プロジェクト 2021.3-2021.8
		営業活動費	1,214,406 円	

残額 1,043,700 円は 2021 年度活動費へ繰越とする。